



2020年度

はままつアグリテック 推進プロジェクト

事例発表会

開催形式

オンライン (Zoom)

※参加者には後日、参加方法を
メールでご案内します。

開催日時

2021年
3月30日(火)
15:00 ~ 17:00

定員 50名

主催 はままつアグリテック推進プロジェクト

(浜松農商工連携研究会・浜松ロボット産業創成研究会)

参加費 無料

どなたでもご参加いただけます

はままつアグリテック推進プロジェクトでは、AI・IoTなどの技術をつかった新たな農業のあり方を探求し、同時にものづくり企業のアグリビジネス参入を支援しています。今回は当プロジェクトの実証事業としてご協力いただいた「まるたか農園」の導入事例を紹介し、アグリテックによって何が変わったかをお話いただきます。併せて㈱ソミックマネジメントホールディングスの自律走行ロボット「SUPPOT」と、京丸園㈱の取組について、アグリテックの先進事例として発表いただきます。今回は事例報告を通じてアグリテックについて広く周知させていただきたく、どなたでもご参加いただけます。この機会にぜひご聴講ください。

IoTはかりで効率化！自動計量＆お知らせ＆自動停止で選果効率が1.5倍に！？

発表者

01

名倉IT経営研究所 名倉真史氏 / まるたか農園 代表 鈴木崇司氏

ミニトマトの選果作業において、繰り返しの手間・肉体的負担になっていた重量確認作業をIoTはかりで常時監視し、規定の重量を超えたらブザーを鳴らし作業者に通知及び自動停止することで、7工程だった作業を3工程に短縮。今後は収穫量等のデータをオンライン化して分析し、生産性と収益向上につなげる。

発表者

02

世界中のカーライフを支える技術力で開発した圧倒的走破性~人に追従できる自律走行ロボット~

㈱ソミックマネジメントホールディングス グローバル先進技術開発部商品開発室 室長 長坂智氏

先行例が徐々に増えている不整地走行が可能な自律走行ロボット。自動車の足回り部品を75年間支えてきた技術力を活かし開発した「SUPPOT(サボット)」は悪路や傾斜を難なく走行できる走破性を強みにしている。200kgまで積載可能で、重筋作業で困憊している農業や建設の分野でサービスを展開中。

発表者

03

身近なアグリテック！多様な人達が活躍するユニバーサル農業

京丸園㈱ 代表取締役 鈴木厚志氏 / 生産部長 川口久寿氏

従業員100名の内4分の1に当たる25名を障がい者雇用にあて、農業現場に障がい者雇用を促す「農福連携」を推進。一昨年には農林水産祭の経営多角部門で天皇杯を受賞した。

3/30 講演会申込書 FAXまたはHPからお申し込みください。 FAX:053-459-3535

事業所名	TEL	
	FAX	
所在地	E-mail (必須)	
参加者名	作付品目	

(農家様の場合はご記入ください)